

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2 指定期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)			分析、評価、指示等		得点
運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出				開館時間中(10:00～18:00)は自由来館としている。		
		平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値			105%未満～95%4点	【笠原児童館】 ・行事内容を工夫し、ロコミで広がり乳幼児親子来館が増加。 ・小中学生の多くは車の送迎がないと来館が難しい。また、学童を利用する児童や習い事をしている児童も多い。熱心にクラブ活動をする生徒や塾・習い事に行く生徒が多く、平日の小中学生の来館者数が減少。 【親子ひろば】 ・毎日の行事を工夫し、ロコミで広がり新規利用者が増加。反面上の子の入園・入学のタイミングで仕事に復帰する母親も多く、来所頻度が下がり来所数が減少。【R2.3.31統合・廃止】 【元年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 9,488人 乳幼児:3,826人 小学生:1,684人 中高生:66人 大人:3,948人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 3,346人 乳幼児:1,736人 大人:1,610人 【30年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 7,987人 乳幼児:2,937人 小学生:1,850人 中高生:135人 大人:3,065人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 3,785人 乳幼児:2,020人 大人:1,765人 【29年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 8,882人 乳幼児:3,535人 小学生:1,516人 中高生:122人 大人:3,709人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 4,837人 乳幼児:2,418人 大人:2,419人 【28年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 9,317人 乳幼児:3,640人 小学生:2,140人 中高生:157人 大人:3,380人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 4,173人 乳幼児:2,079人 大人:2,094人 【27年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 9,333人 乳幼児:3,585人 小学生:2,089人 中高生:189人 大人:3,470人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 4,053人 乳幼児:1,955人 大人:2,098人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。					
	②利用人数	平均値比(上記(2)適用) (新型コロナの影響からH31.4からR2.2までの利用人数累計にH31.3の利用人数を加算) 13,290(利用人数)÷13,092≒102% 【笠原児童館】 9,863(利用人数)÷8,880人≒111% 【親子ひろば】 3,427(利用人数)÷4,212人≒81%									
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	<児童館> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計45回開催、延べ964名参加) ・児童を対象とした事業(計51回開催、延べ556名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計28回開催、延べ1,013名参加)(ひろば共催含む) ・中高生事業(計17回開催、延べ36名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計13回開催、延べ37名参加) <親子ひろば> ・親子の交流の場の提供と促進(計199回開催、延べ2,376名参加) ・子育て等の相談・援助の実施(計82回開催、延べ430名参加) ・地域子育て関連の情報の提供(計37回開催、延べ645名参加) ・子育て・子育て支援に関する講習等(計25回開催、延べ240名参加) ※別紙:事業評価表 参照			仕様書以上 13点	・地域と連携し事業を実施している。 【笠原児童館】 ・アンケートを活用し事業内容に反映して参加者の増加に繋げている。 ・クラブの発表の場を地域交流事業の中に設ける等地域連携を意識して運営している。 ・調理室のある環境を活かした事業が実施されている。 【親子ひろば】 ・利用者のニーズを吸い上げ、利用者目線に立つように意識して事業に取り組んでいる。		13点	
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	<児童館> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計17回開催、延べ189名参加) ・児童を対象とした事業(計32回開催、延べ333名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計32回開催、延べ545名参加) ・中高生対象事業(計4回開催、延べ15名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計5回開催、延べ51名参加) <親子ひろば> 自主的な事業(計63回開催、延べ1,087名参加) ※別紙:事業報告書 参照			期待以上 13点	・地域の特性を活かした事業を実施している。 【笠原児童館】 ・事業回数、内容を工夫し積極的に取り組んでいる。 ・多世代交流、地域文化の継承を意識して事業に取り組んでいる。 ・母親クラブの設立を意識した新規事業を実施。 <親子ひろば> ・地域行事に参加し、PRを行うことで新規の利用者に繋げている。		13点	

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:月1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。時間を見つけ第2駐車場を含め、児童館周辺の側道まで様子を見てゴミ拾い等を行っている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	10点
		②保守・点検				運動遊具の保守点検及び自動ドアは委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		③保安・警備				非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		④小規模修繕				・児童館裏職員駐車場の整地(3,120円) ・2階誘導灯老朽化による本体破損の為新規の物と交換(44,064円) ・1階男子トイレの電灯老朽化による基盤劣化の為基盤の取り換え(27,500円) ※10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕・修理を行った。	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)				・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	・日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
	施設管理状況(25点)	①文書管理	15	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき適正に管理されている。	10点
		②環境への配慮				・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定し、プール遊びで残った水は打ち水にして暑さ対策にする、夏は高窓を開け風通しを良くし、ゴーヤによるグリーンカーテンを作った、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作、その他で利用する工作材料を、牛乳パックやペットボトル等を利用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。 ・「ゴミの分別」 クラブや地域共催の調理事業時などでは、ゴミの分別を呼びかけ残采が残らないように声をかけている。 ・「ダンボールコンポスト」の利用 ダンボールコンポストを利用し、野菜を育てている。 ・「ダンボールコンポストを利用した野菜の栽培」 地域の園芸福祉協議会の方にご指導・ご協力を頂きながら、季節の花植え、里芋や玉ねぎ、イチゴ等の野菜を育てている。子ども達と共に世話をし、できた野菜を調理事業に使用、食育の一環となっている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		③バリアフリー				・玄関の車椅子用のスロープやトイレの手すりなどの、設置理由を子ども達に丁寧に説明した。 ・手すりや机の角に緩衝剤を付け、卓球台はロープで固定。不使用時のコンセントにはカバーを付ける等利用者の安全に配慮している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		④備品管理				備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	・適正に管理されている。	
		⑤個人情報保護				特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応		0		事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	・掲示等により利用者に注意喚起を行っている。 ・ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満 ～100%:4点、100%未満:3 点	収入 13,942,127÷支出 14,243,914≒98% 【笠原児童館】 収入 10,862,092÷支出 10,736,076≒101% 【親子ひろば】 収入 3,080,035支出 3,507,838≒88%	100% 未満 3点	・収支報告書により、配点基準に基づき評価。	3点
4		(1)市民・利用 者の声の反 映 (15点)	①ニーズの把握・事 業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	【笠原児童館】 ・窓口に意見箱を設置するとともに、乳幼児クラブ終了時にアンケートを実施し、行事 開催後にも感想・意見を聞く場を設けた。 【親子ひろば】 ・利用者の声に応え、公園に行く事業や父親との時間を大切にする事業を実施し、複 数の異年齢が交流できる場や家族ぐるみで交流できる日を設けた。	期待 以上 9点	・乳幼児クラブ・小学生クラブではアンケート結果を踏まえ、次期のクラブ に取り組むことで対応している。 ・児童館まつりなどの大規模な事業後にアンケートを実施し、次年度に活 かすようにしている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情な し・適 正(普 通)4 点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点
	より良い施設 運営のための 取組 (30点)	(2)より良い施設運営・事業実施のた めの提案・姿勢、上記1～3の評価に 反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果 ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0 点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな 事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにし た。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育 ち・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 (5/10東京ニッショーホール・2/8～9明治学院大学) ・4/24「みんなのおうちコーディネータ養成研修(東京池袋本部)」・1/15～16「全国事業推進会議 (東京日本教育会館)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計9回開 催。 ・6/9「東海基礎研修」・7/14「東海子育てプロジェクト」・1/26「東海よい仕事集会」など、愛知岐阜 静岡エリアブロックにおいても研究交流会を開催した。 ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第4月曜日を基本に開催した。 (4/15組織理解基本研修・5/27普通救命救急講習(笠原消防署)をはじめ、児童館ガイドライン 研修・リスクマネジメントとヒヤリハット学習会・集団および個別援助研修・ぎふ木育講習・スキル トイ実技・製作実践指導など専門性を高める研修。その他事務研修としてホームページ更新法お よび電算システム実務研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:児童健全育成推進財団】5/24健全育成専門セミナー 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】5/31総会研修会・9/13館長研修会・10/2東濃ブロック児童厚 生員研修会・10/30東濃地区児童館職員等研修会 【主催:岐阜県恵みの森づくり推進課】8/29ぎふ木育リスクマネジメント安全管理研修・2/25ぎふ 木育ひろばフォローアップ研修	期待 以上 13点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有すること で職員の資質向上に努めた。	13点
		(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応 じて減点対象とする(遅れ・ 不備内容の程度により△1～ △3点) 一部遅れ・不備あり(軽微): △1、 一部遅れ・不備あり(中程 度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以 下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・ 不備な し 減 点なし	適正に実施されている。	0点
5	その他 (減点方式)	(2)市からの指示等への対応(報告書 類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減 点対象とする(対応等の内容 により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待ど おり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△ 1、 対応等が期待以下(中程度): △2、 対応等が期待以下(それ以 下):△3	指示は特になし。	指示 等な し・対 応等 が期 待ど おり 減 点なし	適正に実施されている。	0点
		合計		100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下			全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・地域連携・地域交流を進めている点を評価。	83点 良好